

はじめに

未来を担うこども、若者は社会に活力と希望を与えてくれる宝です。その健やかな成長や自立を地域、社会一丸となって応援することは、私たち大人の責務です。

近年、人口減少・少子高齢化の加速化とともに、社会情勢が大きく変化し、価値観の多様化、地域コミュニティの希薄化も進行しています。これに伴い、こども、若者、子育て世代が抱える課題の複雑化が増しており、健やかな成長や自立に向けた環境整備が求められています。



国においては、令和5年に「こども基本法」を制定し、こどもが将来にわたって幸福な生活を送ることができる「こどもまんなか社会」の実現に向けた取り組みが進められています。

本市では、平成30年2月に「高砂市子ども・子育て・若者支援プラン」を策定し、こどもの健やかな成長と若者の自立を地域社会で支えるとともに、その活躍が地域の活力として育まれていくよう、総合的かつ連続的な取り組みを推進してまいりました。このたび、第1期プランにこども施策の基本的な方針を定めた「こども大綱」を踏まえ、市町村こども計画に位置付ける「第2期高砂市子ども・子育て・若者支援プラン」を策定いたしました。

すべてのこども・若者が、心身の状況や置かれている環境等にかかわらず、将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活ができるよう、本プランの基本理念である「こどもの健やかな成長と若者の自立を支え、安心して暮らせるまち」を実現するとともに、子育て世帯に寄り添い「高砂市でこどもを産み育てたい」と感じていただけるよう取り組んでまいります。

結びに、本プランの策定にあたり、活発なご議論をしていただきました高砂市子ども・子育て・若者会議委員の皆様、アンケート調査等において貴重なご意見やご提案をいただきました皆様に心より感謝を申し上げます。

令和7年3月

高砂市長 都倉達弥